



社会福祉協議会 一色地区のコーディネーターが、一色地区の情報や活動する団体などを分かり易くお知らせしています。

2024年
6月1日(土)

「一色まち歩き」別荘とこみち(海岸)編

開催しました！

「私たちが住む一色地区をもっと知ろう」という目的で、「一色まち歩き」が開催されました。葉山町最古の古刹である「玉蔵院」をスタートし、国指定登録有形文化財として有名な「加地邸」を内部も含めての見学。歴史上の有名人の旧別荘跡地をつなぐ「こみち」を散策しながら、赤い屋根の「畑中邸」で休憩、解散というコースでした。参加者からは「近くにこんな素敵な所があったなんて知らなかった」という感想も出ていました。

ひじきの入った
M氏の手作
リクッキー！

支配人・松橋氏による解説

畑中邸に到着

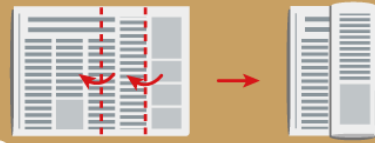


第3町内会 防災キャンプ

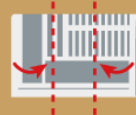
5月27日(土)~28日(日)主馬寮公園にて、防災キャンプが行われました。炊き出し、消防隊員による「初期消火訓練」、災害救援活動士による被災地支援の実体験のお話や活用できる「簡易スリッパの作り方」を習い、夜はキャンプファイヤーや花火を楽しみ、子どもから高齢者まで住民同士の交流もしつつ、防災について学ぶイベントとなりました。



新聞紙のスリッパの作り方



① 半分に折りたたんだ新聞紙を横長に置き、中央線に向かって右から左に折り、さらにそこから同じ方向へもう1度折る。



② 新聞紙を裏返し、折った部分が上になるように置いたら巻三つ折りに。



③ 片方の角をもう片方の角のなかに収納し、角の左下部分を内側に折り込む。



④ 最後に四隅を三角に折り、裏返す。



もう1個つくって完成!



一色第5町内会「磯遊び」

5月26日(日)一色かいがん子ども会が主体となり

「磯遊び」が行われました。夏かと思う青い空と心地よい海風、絶好の天候に恵まれ、一色海岸の「小磯の鼻」の岩礁周りで「たま(磯玉)」と呼ばれるクボガイを採取しました。初めは「たま」を見つけられなかった子ども達も次第に慣れて、バケツがいっぱいになっていきました。「たま」は昔から美味な貝として知られ、採った貝は一色会館前の広場で調理し、いただきました。



「はやま一色歩き」は葉山町社会福祉協議会の[ホームページ](#)からみることができます

生活支援コーディネーターとは高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、生活支援・介護予防の体制づくりを進めるのが仕事です。具体的には地域の特性や高齢者の困りごとを把握しネットワークづくり、ニーズと取り組みのマッチングなどを行います。皆さん、気軽に声をかけてください。